

## 自然環境部会6月例会報告

作成：国安

20240604 18:10～20:00 M サボ会議室

参加者 14名 + 1名（金子昭一：伊勢崎）

飯塚紘一（太田）、上田優希（伊勢崎）、国安俊夫（前橋）、酒井千富（前橋）、櫻田稔（安中）、鈴木克彰（前橋）、田中和夫（高崎）、常見智之（前橋）、西村豊（太田）、西村良子（前橋）、藤森昇（高崎）、船津美美（前橋）、山下由紀子（桐生）、六本木真弓（前橋）

配布資料 ①部会長立候補メモ、②新規活動の提案、③提案2「30by30 自然共生サイトから学び、活動に応用する」、④高山村共有林の作業について

田中部会長の進行で開催

参加者自己紹介

西村代表より挨拶

議題1 次期部会長選出

国安より立候補あり 配布資料①に基づき立候補の理由、抱負、当面の方針の説明があった

他に立候補者なく、挙手により賛成多数で承認された。

議題2 今期活動内容の協議

国安：部会員にアンケートを取り、取り組む活動を決めてゆきたい

配布資料①を基に、想定される例及び個人的関心事説明

西村代表：部会として金を扱えない。活動費が必要な場合は別団体を立ち上げる必要ある

鈴木：荒れている森林の保全に関する取り組みを検討し市町村に提言すべき

酒井：林地の境界線が判らくなっており、これの明確化が喫緊の課題

金子（国安代理説明）：配布資料（②サンデンフォレストを利用した活動及び③自然共生サイト訪問調査）の提案があった

部員へのアンケート結果も反映し次回部会で決める事となった。

議題3 高山村共有林の整備について

田中より配布資料④に基づき、活動の継続、チーム代表者及び活動予定を決めてもらいたいとの提案があり、飯塚及び藤森より追加説明

継続して取り組む、メンバーは次号で募集する（原稿作成田中）、補助金申請書は田中名で作成し提出する、実質上の代表（チーム代表）は、集まったメンバーで決める事が決定された。

櫻田より各地区の自然環境への取り組みについて質問があり、前橋地区会、高崎地区会、西部地区の現状について説明があった

#### 議題4 次回部会開催予定

7月11日(木) 18:30~20:00 Mサボ会議室 Zoomも併用で

議題 活動内容検討、チーム分け及びリーダー決定、今後の部会開催予定、部会運営体制(6月18日開催の幹事会の際に、部会所属メンバーリストを入手し、関心事アンケートを実施する。その結果を取りまとめ、チーム分け案を次回部会に提示する)

#### <高山村共有林の手入れ、協力者募集> 田中和夫

新しく環境アドバイザーに登録された方もいらっしゃるので過去の経緯を含めて説明します。

「行動する環境アドバイザー」を実現すべく、メンバーと一緒に活動できる場を探していました。元の県森林環境部(現環境森林部)部長だった大木伸一氏(高山村在住)から「高山村本宿殖産組合」管理の共有林を紹介されました。

現地は渋川から中之条に抜ける県道36号沿いで群馬天文台入口の中山峠から約1km北へ下った標高700mほどの高原で眺めも良く気持ち良い場所です。実際の作業としては刈払機や手鎌などにより下草や枯れ枝等処理する事で、チェーンソーを用いる作業はありません。

大木氏や鈴木顧問の紹介で「公益社団法人群馬県緑化推進委員会」で「緑化ボランティア活動補助事業」で助成金制度がある事を知りましたが、環境アドバイザー組織としては補助金を得る事はできないので任意団体の「高山村の会:代表田中」名で申請し、過去2回いただいております。

作業開始当時のメンバーは高齢化し参加者も減少気味ですので改めて参加者を募集します。

◎今月17日が助成金申請の締切りだったので以下の日程で申請しました。

7月6日(土)、8月3日(土)、9月7日(土)、10月5日(土)、11月2日(土)全て第一土曜日で9時から2時間程度を予定しています。

女性の方でもできる作業もありますので宜しくお願いします。

以上